

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称

西播磨の家

グループの名称

西播磨の家推進協議会<ひめぶる>

直近採択グループ番号

04-0320-0552

(グループ代表者)

代表者名	瀧元 一彦	代表者印
代表者所属先	瀧元商事有限会社	
代表者所在地	兵庫県宍粟市波賀町上野190番地の2	
代表者電話番号	0790-75-2033	

(グループ事務局)

事務局事業者名	瀧元商事有限会社	
事務局担当者名	瀧元 一彦	印
事務局郵便番号	671-4221	
事務局所在地	兵庫県宍粟市波賀町上野190番地の2	
事務局電話番号	0790-75-2033	
事務局FAX	0790-75-3677	
事務局担当者E-mail	takimotokazu0411@gmail.com	

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)		5	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)		5	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		7	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		7	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)		1	戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		1	戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確実(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸				
		申請が未確定(上限100万円)			戸					
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸				
			上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸				
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確実(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸					
	申請が未確定(上限150万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)			戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸					
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確実(上限165万円)			戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実(上限20万円)			戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が確実(上限30万円)			戸					
	申請が未確定(上限165万円)		4	戸						
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		4	戸					
		上記の内、三世代同居加算の申請が未確定(上限30万円)			戸					
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確実	棟	/						
			m ²							
		申請が未確定	棟							
			m ²							
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	本事業へ参加を希望する全施工業者に最低1戸を配分し、その上で有力な案件を持つ施工業者にグループで協議したうえで配分し、グループへの配分額を余すこと無い様事業を推進する。									
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)									
	当初予算	採択戸数	4	戸	交付申請戸数	4	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	4	戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)									
	当初予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
	補正予算	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績(竣工予定含む)戸数		戸
優良建築物型										
当初予算	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績(竣工予定含む)棟数		戸	
当初予算	採択床面積		m ²	交付申請床面積		m ²	完了実績(竣工予定含む)床面積		m ²	

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 西播磨の家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 西播磨の家推進協議会<ひめぶる>	(結成年) 2015年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0320-0552	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	兵庫県(西播磨)は阪神大震災を経験し、活断層である山崎断層があり消費者の耐震への意識が高い地域であるため、耐震等級2を標準とする。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	西播磨地域古来から伝わる、在来軸組み工法を標準とし、使用する木材は地元兵庫県の県産材を推奨する。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	地域材を内外装(仕上げ)材に、積極的に使用する。	○
④①～③の背景	本グループは西播磨の暮らしの豊かさを再発見することにより、消費者に対し暮らしに役立つ情報を発信し、上記①～③を軸に各工務店の独自性をプラスし、地域の消費者が快適に長期間暮らせる住宅を目指す。	◎
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	消費者に対し、できる限り兵庫県産木材利用木造住宅特別融資制度を推奨する。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	■ 行っていない □ 行っている → 内容: 地域材を主要構造部に50%以上使用する。	◎
①-2 使用建材の統一	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 構造材プレカットにおいて、梁については兵庫県森林林業技術センターの推進する高強度梁仕口(但馬テイボス)を積極的に取り入れる。	○
①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 兵庫県産材を加工した内装材を調達する。	○
②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: プレカット業者・建材流通業者を少数にすることにより合理化を図る。	○
②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: 事務局は適時、合理化委員会を招集し、グループ内での情報共有を図る。	◎
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない ■ 行っている → 内容: グループ内に合理化委員会を設置し、検討会を実施。	◎
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない ■ ある → 内容: 事務局は適時、合理化委員会を招集し、グループ内での情報共有を図る。	◎
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない ■ ある → 内容: グループ内において標準仕様の検討をする。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない ■ ある → 内容: グループ内で共通チェックシートを作成し使用する。	◎
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない ■ ある → 内容: 施工者は消費者に提示する見積書に必ず内訳書(項目ごとの単価)を作成し、消費者に見積もり金額の透明化を図る。	◎
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない ■ ある → 内容: グループホームページ(ひめぶる)を活用し、本グループの目指す地域型長期優良住宅の訴求活動を行う。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 西播磨の家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 西播磨の家推進協議会くひめぶる>	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0320-0552	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	住宅履歴情報の蓄積	
①-1	内容・蓄積の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関において、住宅履歴情報の保管・管理を行う。	◎
①-2	情報サービス機関の活用 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関において、住宅履歴情報の保管・管理を行う。	◎
①-3	履歴情報蓄積の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が第三者機関への登録状況を確認する。	○
②	メンテナンス基準の整備	
②-1	点検の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 引渡し後30年間の維持保全計画書を作成する。	◎
②-2	補修の共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンテナンス時期の明確化(6ヶ月・1年・2年・5年・10年・15年・20年・25年・30年)	○
②-3	点検補修実施の確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工業者が点検補修を行い履歴を残す。	◎
③	住まいの管理	
③-1	住まい管理勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 消費者に住宅引渡し時に住宅の保守に関する説明をする。	○
③-2	DIY体験会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループホームページにて、メンテナンスに関する情報を消費者に向けて発信する。	○
③-3	その他の相談会等の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 主要構造材のミニチュア等を作成し組立工程や主要構造を認識してもらう体験会を実施する。	◎
④	維持管理委員会等の設置 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内に維持管理委員会を設置する。	◎
⑤	その他の維持管理の手法 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 施工店が倒産した場合、近隣のグループ会員がアフターメンテナンスを引き継いで実施。	◎
②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局が中心となって住宅の瑕疵等の情報をグループ内で研修会を開催する。	○
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

エ. グループの技術力の向上

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 長期優良住宅認定取得において未経験施工者に対し事務局を中心にグループ内での研修を行う。	◎
②-1	品質管理のための共通ルール <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 主要構造部等の住宅の主要部に関して第三者機関による検査を行う。	◎
②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 第三者機関による検査確認書による。	◎
③-1	需給計画の策定 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内において1年以上経過した時点で検証を行う。	○
③-2	技術力向上のための中長期的な計画 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内で技術研修への参加を促す。	○
④	③に基づく業種ごとの合理化の取組 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数 昨年度までの終了者数 5 今年度の参加目標人数 2	◎
①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数 昨年度までの終了者数 0 今年度の参加目標人数 0	
②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 事務局より、講習会開催日程を構成員へ通知する。	◎
c		
①	新たな技術等の導入 <input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: グループ内において、新たな技術・工法についての情報を共有する為の協議を行う。	◎
②	新たな技術等の開発 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他	※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 西播磨の家	(地域型住宅供給対象地域) 兵庫県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 西播磨の家推進協議会<ひめぶる>	(結成年) 2015 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号 (必須)	04-0320-0552	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴

※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。

※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

《ゼロエネルギー住宅》

HEMSの設置を推奨する事により、エネルギーの見える化を図る事を提案する。

庇・サッシ位置及び寸法等、自然エネルギーを取り入れる様、パッシブソーラーの考えを設計に取り入れる事を推奨する。